【別添資料1】

山都町学校給食における基本理念・基本方針

1 基本理念

「食」を通じて、子どもたちの健やかな成長と、ふるさと山都町への愛着を育む学校給食

学校給食は、子どもたちの心身の健やかな成長を支えるとともに、食の大切さやおいしさを実感し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための大切な教育の場である。

山都町の豊かな自然と農業に育まれた地元の食材を活かし、食材の持ち味や調理の工夫を大切にした給食を自校調理方式により提供することで、子どもたちの五感を育み、地域の農業や食文化への理解を深め、ふるさと山都町への愛着と誇りを醸成する。

2 基本方針

（1）子どもたちの健やかな成長を支える給食

栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けることで、生涯にわたる健康づくりや生活習慣病予防につなげる。

（2）地元の食材を活かした地産地消の推進

町産食材の積極的な活用に努め、生産者の思いや農業の大切さ、地域の農産物の価値を伝えることで、地産地消への理解と地域への愛着を育む。

（3）五感で味わい、食の楽しさを実感できる給食

食材の切り方や調理方法を工夫し、見た目、香り、味、食感など、五感で食を楽しめる給食を目指す。手切りや手作りの良さを大切にし、子どもたちが食べる喜びやおいしさを実感できる給食を提供する。

（4）町・学校・家庭・地域が連携した食育の推進

栄養教諭や学校の担当教諭を中心に、教育・福祉分野や家庭、地域、生産者等との連携を図り、学校給食を生きた教材として活用するとともに、地域の農業や食文化を学ぶ機会を充実させる。

（5）地域とともに持続可能な学校給食の運営

地産地消と食育の推進を通じた地域振興を図りながら、関係者が共通の理念を持ち、子どもたちにとってより良い給食を継続的に提供できる体制を目指す。